

157 東堂一枝折る

158 南海百城専らにす

159 祖業儒林聳たなびく

160 州功吏部銓る

口語訳

153 振り返って想う、初めて仕官した頃を。

154 寸暇を惜しんで学問に専念し、聖賢の道を修行していた頃を。

155 対策（官吏登用試験）にも及第し、

156 政においても、料理のとき小魚を煮るのにそうするように、いたずらに効果をあせって施策を加えかき回

すようなことはしなかった。

157 （八七〇、貞観十二年）文章得業生の試を受け、対策及第した。

158 その後（八八六、仁和二年）南海讃岐の国司となって任地に下り、讃州の多くの町や村を治めた。

159 こうして私は父祖以来の学問を受け継ぎ、（それは）儒家の人々の間に高く聳え立っている。

160 讃州の国主として州を治めた功績は式部省の役人もよく調べて知っている。

語釈

153 ○却 ……思いがけず、無意識のうちに